

令和7年度 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会

事業報告

社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会は、熊谷市の中核的民間福祉団体として、地域福祉の推進を図るため、県、市をはじめ関係機関、団体と密接な連携のもと、各種事業を実施した。

その概要は、次のとおりであった。

1 理事会及び評議員会の開催

- (1) 令和7年6月4日（水）めぬま農業研修センターにおいて理事会を開催し、下記の議案を審議するとともに、令和7年5月21日（水）に実施された監査の報告が監事から行われた。

- 議案第1号 令和6年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会事業報告について
 - 議案第2号 令和6年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会決算について
 - 議案第3号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会理事の選任について
 - 議案第4号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会監事の選任について
 - 議案第5号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任及び解任について
 - 議案第6号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会評議員の選任及び解任の提案について
 - 議案第7号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会次期評議員選任候補者の推薦について
 - 議案第8号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について
 - 議案第9号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会定時評議員会の招集について
 - その他 今後の会議・行事日程等について
- 以上9件について、それぞれ承認された。

- (2) 令和7年6月20日（金）熊谷市妻沼行政センターにおいて定時評議員会を開催し、下記議案を審議するとともに、令和7年5月21日（水）に実施された監査の報告をする。

- 議案第1号 令和6年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会事業報告について
- 議案第2号 令和6年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会決算について
- 議案第3号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会理事の選任について

○議案第4号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会監事の選任について

○その他 今後の会議・行事日程等について

以上4件について、それぞれ承認された。

- (3) 令和7年6月20日（金）熊谷市妻沼行政センターにおいて理事会を開催し下記の議案を審議した。

○議案第10号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会会長の選任について

（原山俊市理事）

○議案第11号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会副会長の選任について

（内田功一理事、橋本弘理事、寺田治子理事）

○議案第12号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会常務理事の選任について

（高橋近男理事）

○その他 今後の会議・行事日程等について

以上3件について、それぞれ承認された。

- (4) 令和7年9月2日（火）めぬま農業研修センターにおいて理事会を開催し下記の議案を審議した。

○報告事項

・会長及び常務理事の職務執行状況の報告について

○その他 今後の会議・行事日程等について

以上1件について、報告をした。

- (5) 令和8年3月5日（木）めぬま農業研修センターにおいて理事会を開催し、下記の議案を審議した。

○報告事項

・会長及び常務理事の職務執行状況の報告について

○議案第13号 令和7年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会1次補正予算について

○議案第14号 役員等賠償責任保険の契約について

○議案第15号 令和8年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会事業計画について

○議案第16号 令和8年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会予算について

○議案第17号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会評議員の選任及び解任の提案について

○議案第18号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について

○議案第19号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会評議員会の招集について
○その他 今後の会議・行事日程等について
以上7件について、それぞれ承認された。

(6) 令和8年3月23日（月）熊谷市妻沼行政センターにおいて評議員会を開催し次の議案を審議した。

○議案第13号 令和7年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会1次補正予算について
○議案第15号 令和8年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会事業計画について
○議案第16号 令和8年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会予算について
○その他 今後の会議・行事日程等について
以上3件について、それぞれ承認された。

2 評議員選任・解任委員会の開催

下記のとおり評議員選任・解任委員会を開催し、理事会から提案された選出団体からの推薦等に基づく議案を審議した。

- (1) 第1回 令和7年6月12日（木）熊谷市妻沼行政センター
- (2) 第2回 令和8年3月13日（金）熊谷市妻沼行政センター

3 監事監査の実施

令和7年5月21日（水）熊谷市妻沼行政センターにおいて、令和6年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会事業報告並びに決算について監事監査を行った。

4 資金貸付に関する事業

借入相談件数（郵送含む） 4,413件 来所者数 1,112名

(1) 熊谷市福祉資金の貸付け及び償還

低所得世帯で臨時的出費又は収入欠如等のため生活を脅かされ、又はその恐れがあり、生活維持のために、応急的な資金を必要とする世帯を対象とし、生活の安定と自立の助長を図ることを目的として貸付けを行った。

ア 貸付件数	126件
イ 貸付金額	5,041,000円
ウ 償還件数	354件

エ 償還金額 3, 825, 400円

(2) 熊谷市善意銀行

・預託状況 (預託金)	0件	
(指定寄付金)	0件	0円
(償還金)	228件	1, 973, 000円
(物品) 食糧品、下着等	26件	
・払出状況 (貸付金)	226件	2, 116, 000円
(社会福祉施設・団体等へ配分)	0件	0円
(物品) 食糧品、下着等	95件	

(3) 生活福祉資金貸付事業 (埼玉県社会福祉協議会)

ア 緊急小口資金	2件	貸付金額	200, 000円
イ 福祉費	0件	貸付金額	0円
ウ 教育支援資金	1件	貸付金額	250, 000円
エ 総合支援資金	1件	貸付金額	460, 000円
オ 要保護世帯向け不動産担保生活資金	0件	貸付金額	0円

(4) 彩の国あんしんセーフティネット事業 (埼玉県社会福祉協議会)

福祉事務所および市内の社会福祉法人と連携して、失業・虐待・けがや病気などが原因で生活に困っている人たちに寄り添って、訪問・相談を通じて必要な制度につなぐ活動を実施している。

支援件数 2件

5 児童福祉に関する事業

(1) 社会福祉協力校

社会福祉協力校として市内高等学校 (2校)、市内小 (24校)・中学校 (14校)、保育園 (17園)・保育所 (13所)、幼稚園 (3園)、認定こども園 (2園) を指定し社会福祉に対する理解を深めるための各種事業を行い、教育の場を通して児童、生徒がお互いの人格を尊重し、助け合い、はぐくみあう福祉の心を育てる実践活動が行われた。

(2) ふれあい里親事業の実施 (夏期および冬期) 参加人数4組4人

(3) 子育てサロンの実施 実施回数 47回 参加人数 684人

(4) 子育て応援相談事業

育児等に悩みを持つ家庭へ保育士、埼玉県家庭教育アドバイザー資格等を持った子育てサポーターを派遣し、傾聴を主とする活動を行った。

電話相談 2件・訪問相談 13件（42回訪問） 子育てサポーター研修 実施回数 3回

(5) 敬老ポスターコンクールの実施

市内小学3年生の希望者を対象に、第19回「敬老ポスターコンクール」を実施し、入選以上の作品 260点をニッポーモール2階に展示した。（9月11日～18日）

会長賞 1 特選作品 25 入選作品 234

参加者数 1,359人

6 高齢者福祉に関する事業

(1) シニアおたすけサービス事業

民生委員・児童委員の調査により、満77歳以上の単身高齢者世帯へ家屋等の修繕・清掃サービスを実施した。

実施件数 140件

(2) 車いす貸出事業

日常生活用具の貸出事業として、車いすの貸し出しを行った。

貸出台数 延べ197台

(3) 単身高齢者の近隣見守り協力員事業として、協力員に記念品を贈呈した。

協力員数 822人

(4) ふれあいいきいきサロン 93団体

(5) ふれあい弁当サービス事業

在宅の単身又は日中独居の高齢者に対して、見守り活動の一環として健康維持と孤独感の解消等を図ること目的に実施した。

合計：延べ利用者数・弁当数 4,883人・食 実施回数 133回

ふれあい会食会 2回

7 在宅福祉推進事業

(1) 紙おむつ給付事業

在宅で生活する介護保険の要介護度5又は4の認定者や身体障害者手帳1級又は2級の障がい児（者）などで紙おむつを必要とする者に紙おむつを給付した。

・延べ利用者数 5, 880人

(2) 家事援助サービス事業

高齢者・障がい者・父子・母子家庭の福祉を増進するため、くまがや在宅福祉家事援助サービス事業の推進を図った。

・協力員	3人	・延べ利用者	26人
・延べ件数	152件	・延べ利用時間	198時間

(3) 在宅福祉移送サービス事業

ねたきりの高齢者・障がい者等の福祉の増進のため福祉車両の貸出しを行った。

・利用回数 173回

(4) 地域ネットワーク友愛事業

65歳以上の高齢者等、または見守りが必要な障がいのある方で希望者に、民生委員・児童委員とボランティアが協働して安否の確認や生活上の孤立感の解消し、地域の輪を築いた。

ア 友愛訪問 26組（29人） 214回

イ 友愛電話 183人 （延べ1, 973名） 2, 685回

・「もしもし通信」を年2回（10月、3月）に発送した。

・LINE公式アカウント「友愛電話」より、年4回（春夏秋冬）情報配信した。

・スキルアップ講習会（情報交換会）の実施

ウ 友愛通信 844人 1, 673通

市内小学3年生の敬老ポスターを掲載した「暑中見舞い・寒中見舞いハガキ」を送付した。

8 社会奉仕活動に関する事業

ボランティアセンター活動事業として、次の事業を実施した。

(1) ボランティアに関する相談、登録及びあっせん事業

ア 相談 1, 439件

イ 派遣・派遣	223件	783人
ウ 登録個人	874人	累計1,977人 (LINE 公式の登録者含む)
エ 登録団体・熊谷市ボランティア連絡会	38団体	1,008人
・レクリエーションボランティア	95団体	1,277人
オ 災害ボランティア登録個人	102人	
カ 災害ボランティア登録団体	4団体	
(熊谷市ボランティア連絡会、熊谷市赤十字奉仕団、末日聖徒イエスキリスト教会、復興ボランティア タスクフォース)		

(2) ボランティア保険等加入手続き

ア ボランティア活動保険	136件	738人
イ ボランティア行事用保険	46件	8,122人
ウ 福祉サービス総合補償保険	6件	12,163人

(3) 夏のボランティア体験事業

市民が気軽に参加できるように市内の施設、団体の協力を得て夏のボランティア体験事業を実施した。

- ・期間 7月20日(日)～8月31日(日)
- ・会場 市内各所(福祉施設、コミュニティセンター等)
- ・内容 ボランティアに関する講座と福祉の体験学習、地域での多世代交流
プログラムメニュー数 98メニュー
- ・参加者実数 1,562人(延べ1,909人)

(4) 各種ボランティア講座事業

各種ボランティア講座を実施し、ボランティアの質の向上に努めるとともに、ボランティアの発掘、育成を図った。

ア ボランティア活動のためのカウンセリング講座(入門編)	3回	延べ参加者72人
イ 友愛電話スキルアップ講習会	1回	参加者10人
ウ 心のバリアフリー教室サポーター養成講座	2回	延べ参加者30人
エ 災害ボランティア担い手養成講座	1回	参加者85人

(5) 福祉教育

市内の小・中学校・事業所等の依頼を受けて、熊谷市の都市計画課と協働し、心のバリ

アフリー教室を実施した。(アイマスク体験、車いす体験、高齢者疑似体験、障がい者講演)

小学校4校 5日 高校1件 専門学校1校 自治会1件

放課後等デイサービス1件 社協事業6件

延べ参加者269名

(6) 福祉用具・スポーツ遊具の貸出

114件 3,689名

〔内訳〕 車いす213件 高齢者疑似体験セット101件 アイマスク111件

白杖42件 ボッチャ58件 輪なげ49件 モルック17件ほか

(7) 災害対策チーム

災害時における体制の構築と職員の意識高揚を目的として、令和4年9月より設置。
職員7名を参集し、会議や研修会を実施し、夏のボランティア体験プログラムや災害ボランティア担い手養成講座の企画運営を行った。

また、各種研修会(勉強会)や防災イベント等にも、メンバーを中心に参加した。

(8) LINE 公式アカウント「熊谷市ボランティアセンター」での情報配信

登録者数 1,103名 123回の配信

(9) 福祉バザーの開催

令和7年10月18日(土)、午前10時から熊谷スポーツ文化公園内東第2多目的広場で実施した「第36回熊谷ふれあい広場」において、熊谷市民生委員児童委員協議会のご協力をいただき福祉バザーを開催し、789点を販売し、売上金額187,070円は社会福祉事業費へ繰入れた。

9 介護保険事業

- ・介護支援計画作成件数 2,449件(うち予防居宅介護支援 353件)
- ・認定訪問調査件数 143件
- ・訪問介護事業利用者数 延べ 5,773人(うち総合事業 延べ 2,081人)

10 障がい福祉サービス事業

身体、知的、精神障害者又は障がい児が、居宅において日常生活を営むことができるようホームヘルパーを派遣し、身体介護、家事援助等のサービスを提供した。

また、屋外での移動困難な視覚障害者の方に、外出するための支援を行うためガイドヘルパーを派遣した。

・居宅介護利用者	延べ	962人
・同行援護利用者	延べ	26人

11 公益事業

熊谷市成年後見センターを開設し、熊谷市成年後見センター運営委員会を次のとおり開催し、熊谷市の成年後見事業における市民後見人養成業務、相談受付業務、広報・啓発業務を行った。

○成年後見センターの運営状況

- ア 相談件数 51件（来所9件、電話40件、訪問1件、メール1件）
- イ 専門相談 30件（第2・第4木曜日13：00～16：00開催）
- ウ 法人後見受任件数 2件
- エ 講演会の実施 「暮らしを守る成年後見制度」

令和8年2月21日（土） 参加者 約220人

○運営委員会の開催

- (1) 第1回 令和7年 4月24日（木）市立コミュニティセンター
- (2) 第2回 令和7年 8月19日（火）市立コミュニティセンター
- (3) 第3回 令和7年11月18日（火）市立コミュニティセンター
- (4) 第4回 令和8年 2月17日（火）市立コミュニティセンター

12 収益事業

葬斎施設の利用者への利便を図るため、葬斎施設内の売店運営事業を実施し、収益金は社会福祉事業費へ繰り入れた。

13 熊谷市からの受託事業

熊谷市立コミュニティセンター、老人福祉センター（別府荘、上之荘、ひかわ荘、江南荘）

の管理業務を熊谷市から指定管理者として指定され、その利用拡大を図るとともに、手話通訳派遣事業等を熊谷市から受託し、地域福祉の増進に努めた。

- | | | |
|--------------------|------|---------|
| (1) 熊谷市立コミュニティセンター | 利用者数 | 12,311人 |
| (2) 老人福祉センター別府荘 | 利用者数 | 21,254人 |
| (3) 老人福祉センター上之荘 | 利用者数 | 17,975人 |
| (4) 老人福祉センターひかわ荘 | 利用者数 | 23,011人 |
| (5) 老人福祉センター江南荘 | 利用者数 | 4,105人 |

(※耐震補強工事のため、令和7年6月から令和8年3月まで休館)

(6) 手話通訳派遣事業

聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者の家庭生活及び社会生活におけるコミュニケーションを円滑に行うため、手話通訳者を派遣することにより聴覚障がい者等の福祉の増進を図った。

- ・手話通訳登録人数 17人（専任1人含む）
- ・延べ手話通訳派遣件数 758件（市内642件、市外116件）
- ・延べ手話通訳者派遣人数 855人

(7) 熊谷ふれあい広場

市内の社会福祉関係施設・団体と市民の交流を目的に、第36回「熊谷ふれあい広場」を令和7年10月18日（土）、熊谷スポーツ文化公園内東第2多目的広場で開催した。
参加団体 福祉施設27団体 アトラクション・レクリエーション6団体（個人を含む）
参加者 約1,600人

(8) ファミリー・サポート・センター事業

「子育ての支援を受けたい」、「子育てのお手伝いができる」という人たちが会員になって、一時的な育児の援助活動を有料で行う会員組織を設置した。

- ・会員登録（令和8年3月末現在）
(依頼) 622人 (援助) 111人 (両方) 33人
- ・援助件数 1,702件 2,078時間
- ・講座の開催 6回

(9) 移動支援事業

屋外での移動が困難な障がい者（児）の方に、外出のための支援を行うためガイドヘルパーを派遣した。

・外出支援利用者

延べ105人

(10) 子育て世帯訪問支援事業

家事、育児等に不安や負担を抱え、支援を必要とする子育て家庭に、訪問支援員が伺い、悩みを傾聴するとともに家事、育児等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整備した。

・利用件数 延べ3件 24時間

1.4 大里広域市町村圏組合からの受託事業

地域支援事業（生活支援コーディネーター設置業務）の実施

住み慣れた地域で生きがいを持って在宅での生活を継続していくために必要となる多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、支援体制の充実・強化を図った。

- ・熊谷市自立支援型ケア会議 4回
- ・地域ケア会議への参加 14回
- ・生活支援コーディネーター定例会 12回
- ・地域住民主体地域づくり定例会 2回

(1) 「あんしん市場」（令和2年6月スタート 市内12自治会17会場実施）

熊谷青果商組合、株式会社熊谷青果市場、各自治会、熊谷市生活支援体制整備協議会の協働による生活支援体制整備事業
情報交換会 2回

(2) カスミ移動スーパー（令和4年1月スタート販売場所 市内43か所）

熊谷市と株式会社カスミとの協定に基づき実施

(3) ウエルシア薬局「うえたん号」移動スーパー（令和6年11月スタート 販売場所 市内46か所）

熊谷市とウエルシア薬局（株）との協定に基づき実施。地域を巡回し、買い物支援と併せて見守り活動を行っている。

(4) 他企業による社会貢献との連携

- ・あんしん訪問看護リハビリステーション「血管年齢・骨強度測定会」

	17会場	計25回
・資生堂ジャパン株式会社「美容療法いきいきセミナー」	2会場	計2回
・明治牛乳浅見販売店「骨活講座」	1会場	計1回
・雪印ビーンスターク「低栄養について」	1会場	計1回
・埼玉北部ヤクルト販売株式会社「おなか元気教室」他	5会場	計5回
・株式会社ポーラ桜町グランドグループ「スキンシップの もたらす効果」	1会場	計1回

1.5 埼玉県（県民生活部 防犯・交通安全課）の受託事業

埼玉県犯罪被害者等のための生活支援事業を行っているが、今年度の実績は無かった。

- ・延べ利用者0名
- ・延べ利用時間 0時間

1.6 福祉サービス利用援助事業

埼玉県社会福祉協議会と委託契約を締結し、判断能力の不十分な高齢者や知的障害・精神障害のある方で、一人で生活するには不安のある方が安心して生活できるよう生活支援員が定期的に訪問し、福祉サービスの利用料の支払いや日常的金銭管理等について援助した。

- ・契約件数 27件 （令和8年3月末現在）

1.7 共同募金配分金事業

(1) 赤い羽根共同募金

前年度の募金実績に基づき、埼玉県共同募金会から配分金を受け、各種事業を展開した。

令和7年度配分金 11,795,000円

敬老ポスターコンクール事業、ふれあいいきいきサロン（子育てサロン）助成事業、地域ネットワーク友愛事業、シニアおたすけサービス事業、社会福祉協力校指定事業、地区社協活動費助成事業、地域福祉活動推進事業補助金、地域支え合い・見守り活動支援助成事業、ボランティア団体地域福祉活動費助成事業等

(2) 地域歳末たすけあい募金

当年度の募金実績に基づき、埼玉県共同募金会から配分金を受け、各種事業を展開した。

令和7年度配分金 7,017,245円

地区社協歳末福祉活動費助成事業、単身高齢者近隣見守り協力員報奨事業、歳末たすけあ

い慰問金交付事業、児童養護施設入所児童中学校卒業祝金支給事業、こども食堂歳末たすけあい助成事業、災害用備品の整備等、秋季フードパントリー事業

18 会員会費

市民、福祉関係団体、企業等から社協が行う地域福祉活動の財源となる会員会費の募集を行った。

・一般会員（1口 300円）	13,541,390円
・賛助会員（1口1,000円）	119,000円
・特別会員（1口5,000円）	1,080,000円
合 計	14,740,390円

19 広報誌の発行等

- (1) 「社協だより」を、年4回（1月、4月、7月、10月）発行し、市内全戸及び関係機関・団体等に配布し、社会福祉協議会の事業等について市民の理解を深め、民間福祉事業の増進を図った。
- (2) 社協を紹介するパンフレットの配布、及び「社会福祉協議会の組織と仕事」を作成し、社協の役割や事業についての啓発を行った。
- (3) ホームページに、各種事業活動の募集・実施報告等を掲載し、社協への理解を深める一助としたほか、各種申請書等の様式を掲載の上、活用しやすいものとした。

